

## 令和5年度学校と地域との連携に関するアンケート調査結果 (県立高等学校、特別支援学校)

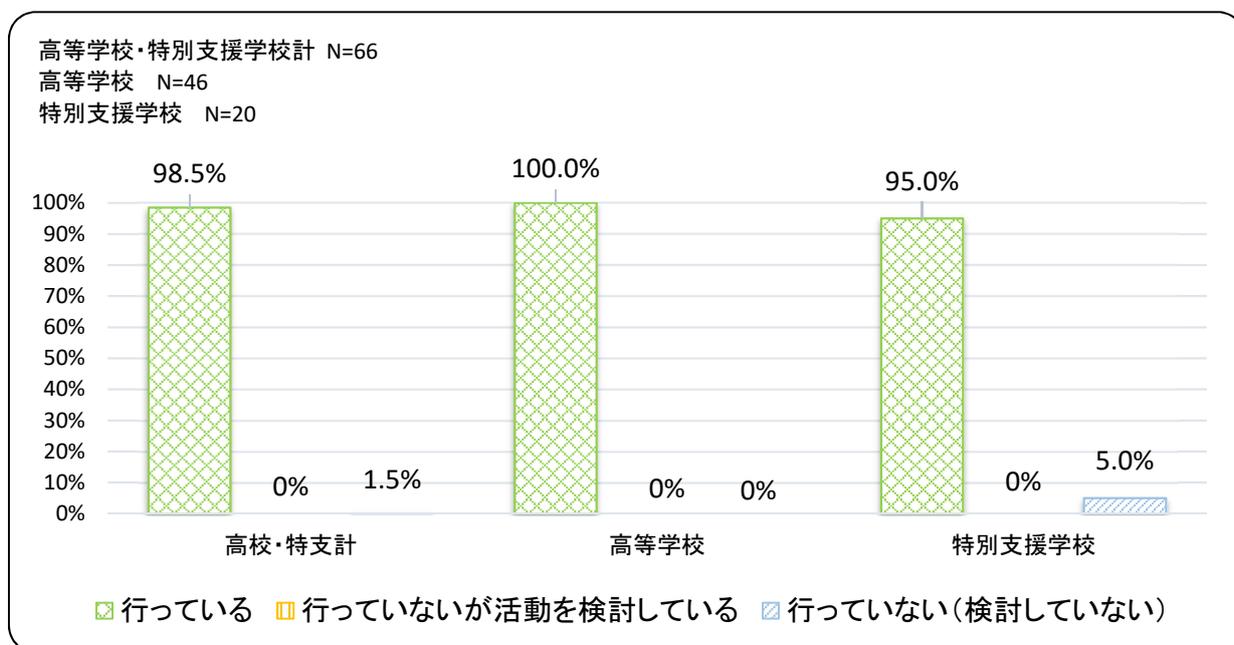
この調査は、県教育委員会が取り組んでいる「学校・家庭・地域が連携し社会全体で子どもを育む仕組みづくり」の進捗状況を把握するために、県内の県立高等学校及び特別支援学校を対象に実施したものです。

- ◆回答期間: 令和5年12月25日から令和6年1月31日まで
- ◆回答率: 100%

1 現在、貴校では、地域住民や保護者、地元企業等と連携した活動(以下、地域学校協働活動という。)を行っていますか。

(全校回答)

### □地域学校協働活動の実施状況



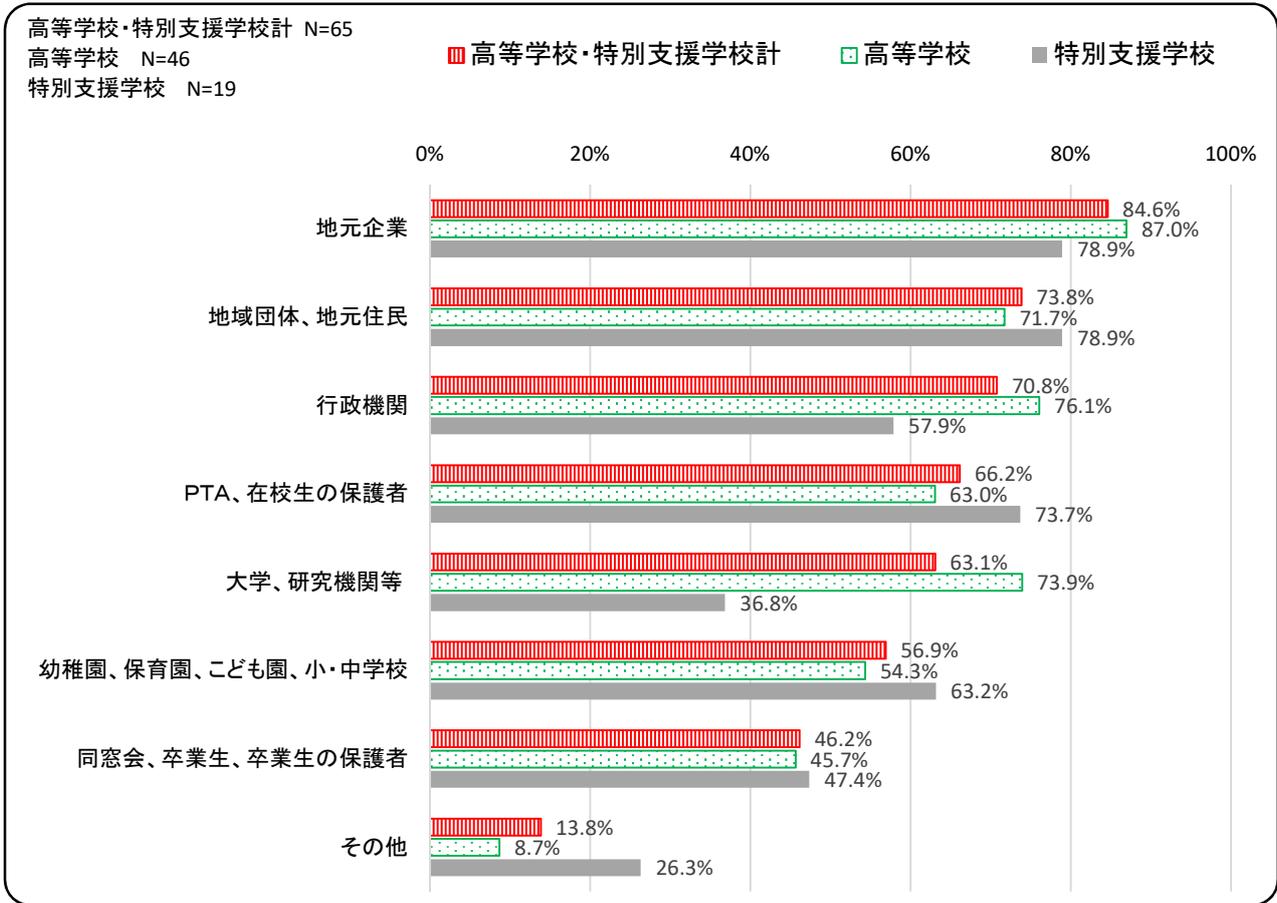
校種	学校数	行っている		行っていないが活動を検討している		行っていない(検討していない)	
		校数	割合	校数	割合	校数	割合
高等学校	46校	46校	100.0%	0校	0.0%	0校	0.0%
特別支援学校	20校	19校	95.0%	0校	0.0%	1校	5.0%
高校・特支計	66校	65校	98.5%	0校	0.0%	1校	1.5%

2 地域学校協働活動の連携先について、選択してください。

(該当校回答)

□地域学校協働活動の連携先

※複数回答のため、重複あり



「その他」の記載内容

高等学校(計4件) :近隣の特別支援学校(2件)、進路支援関連会社(1件)  
 海外企業や大学、国内企業や大学、市役所等、約150団体(1件)、  
 特別支援学校(計5件) :福祉施設(1件)、療育福祉施設(1件)、放課後等デイサービス(1件)、  
 町会(1件)、市交通部(1件)

連携先	高校・特支計(65校)		高等学校(46校)		特別支援学校(19校)	
幼稚園、保育園、こども園、小・中学校	37	56.9%	25	54.3%	12	63.2%
PTA、在校生の保護者	43	66.2%	29	63.0%	14	73.7%
同窓会、卒業生、卒業生の保護者	30	46.2%	21	45.7%	9	47.4%
地元企業	55	84.6%	40	87.0%	15	78.9%
行政機関	46	70.8%	35	76.1%	11	57.9%
地域団体、地元住民	48	73.8%	33	71.7%	15	78.9%
大学、研究機関等	41	63.1%	34	73.9%	7	36.8%
その他	9	13.8%	4	8.7%	5	26.3%

3 貴校の地域学校協働活動の内容を具体的に記載してください。

(該当校回答)

【高等学校】

学校名	具体的内容
青森高等学校	・総合的な探究の時間「あおり創造学」の趣旨に準じた探究型学習の支援・助言。グループ毎に団体と交渉し、講話・助言・協働・聞き取りなどの活動を行っている。
青森西高等学校	・職業体験(インターンシップ、職業ガイダンス、看護体験、保育体験) ・行政機関のイベント補助(青森県総合社会教育センター、青森県男女共同参画センター、三内丸山センター、青森市経済部地域スポーツ課・観光課・交流推進課) ・地域の行事・祭り(石江江渡下町会子どもねぶた、新城平和台町会夏祭り) ・地元企画のイベント参加(JR東日本新青森駅、青森テレビ) ・地元大学との連携(青森大学)
青森東高等学校	・原別小学校に出向き、授業のサポートを行っている。 ・青森県立保健大学に行き、大学生とともに大学の講義を受けている。 ・保護者協力のもと、登下校指導や列車通学指導を行った。
青森北高等学校	・地域に関する学習活動(地域活性化・まちづくり、防災、地域の環境問題、伝統文化の伝承等)、進路講話、環境整備(ゴミ拾い等)、学校行事(各種式典、文化祭、運動会等)の補助、地域の行事・イベント・祭り・ボランティア活動等への参画
青森南高等学校	・地域に関する学習活動、出前授業、職業体験、登下校の見守り
青森中央高等学校	・地域に関する学習活動(出前授業、職業講話、3Rアップサイクル品を近隣の事業所に寄贈)、PTAによる朝の挨拶運動、クリーン作戦
浪岡高等学校	・職業体験(インターンシップ、職場訪問) ・学校行事(運動会、空き缶壁画活動、文化祭)への協力 ・登校時の挨拶運動 ・ボランティア活動
青森工業高等学校	・職業体験(インターンシップ、企業見学、職業講話) ・企業等による出前授業、朝の挨拶運動・登校指導、地域行事(金魚ねぶた制作、囃子練習等)、学校行事(文化祭補助)、青森ねぶた祭全校参加 ・中学生への学校説明会
青森商業高等学校	・PTAによる朝の登校見守り・挨拶運動 ・インターンシップ、職場訪問、職業講話、出前授業 ・授業(課題研究)における協働・連携 ・高大連携事業 ・地域行事への参加・ボランティア
五所川原高等学校	・学習アシスタント(総合的な探究の時間における協力・助言) ・登下校の見守り(朝のあいさつ運動) ・郷土芸能・伝統文化の継承(立佞武多の制作) ・出前授業、進路講話 ・部活動指導補助(外部コーチ)
木造高等学校	・出前授業(救急応急処置実習、青森大学・青森中央学院大学の高大連携) ・進路行事(職業人講話、大学模擬授業、インターンシップ) ・学校行事(PTAの豚汁炊き出し) ・地域に関する学習活動(絶滅危惧植物「ガシヤモク」の現地調査、つがる縄文の会の世界文化遺産講演会、つがるブランドの商品開発及び販売実習、地域の課題を持続可能な開発目標に関連付けて考えさせる探究学習、イオンモールつがる柏催事場の学校紹介) ・地域の行事等への参画(馬市まつり、米国メイン州バス市交流、亀ヶ岡遺跡・田小屋野貝塚まつり)
鱒ヶ沢高等学校	・地域に関する学習活動(あおり創造学における地域企業等の魅力発見活動) ・地域活性化活動への参加(地元企業と連携し水産物を生かした商品開発と販売) ・伝統文化の伝承(町無形文化財保存会との交流及び小・中・高校での伝統行事「流し踊り」の合同開催) ・職業体験(地元企業の協力によるインターンシップの実施) ・学校行事(体育祭、文化祭、スポーツ競技大会における保護者及びPTAの協力) ・ボランティア活動への参画(白神山地ブナ植樹、福祉施設の清掃及び交流会)
五所川原農林高等学校	・学習アシスタント、商品開発・研究、進学・就職相談、職業体験、進路講話、環境整備、部活動指導、地域行事への参画

五所川原工科高等学校	・職場訪問、職業講話、進路講話、学校行事(文化祭、運動会等)の補助、部活動指導補助、地域の祭りへの参画、市長講話
弘前高等学校	・高大連携公開講座、職業人講話、出前講義、登下校の見守り、学校行事(ねふた運行)、部活動指導補助、進路講話等
弘前中央高等学校	・職業人講話、総合的な探究の時間助言者、登校指導、看護体験、福祉体験、医師体験、大学模擬講義、進路講演会(本校)、卒業した中学校での本校の進路講演会講師
弘前南高等学校	・職業人講話、大学出前講義、進路講話、職場訪問(コロナ禍で中止)
黒石高等学校	・「黒石を知る」特別講座 ・地元の中学校での黒石高校「総合的な探究の時間」等成果発表会 ・黒石市総合防災訓練参加 ・黒石よされ参加
柏木農業高等学校	・課題研究等の指導補助(卒業生によるカボチャの栽培管理から流通まで) ・商品開発・研究(清水森ナンバを用いた辣油づくり等) ・職業体験(インターンシップ) ・環境整備(平賀駅前花壇植栽活動) ・登下校の見守り(学校・保護者による列車乗車中のマナー指導) ・部活動指導補助(卒業生等による部活動における技術向上等の指導) ・地域の祭りへの参加(平川ねふたへの参加) ・柏農起農塾(平川市のりんご農家での農業体験)
弘前工業高等学校	・地域事業所・現場見学・インターンシップ(卒業生が勤務) ・社会人講師による授業 ・進路講話 ・企業説明会・座談会(ハローワーク、県庁、県教育委員会、市役所等) ・職業能力開発校(上級学校)との学習・研究に関する相互交流 ・文化祭をはじめとする学校行事 ・市役所主催行事への参加・支援等
弘前実業高等学校	・地域に関する学習活動(地域活性化) ・商品開発 ・出前授業 ・職業体験(インターンシップ) ・進路講話 ・学校行事(文化祭等)の補助
三本木高等学校	・職業講話、地域の観光資源に関する学習
三沢高等学校	・大学模擬講義、卒業生と語る会、地域に関する学習活動(地域活性化)、地域の行事・イベント・祭り・ボランティア活動等への参画
野辺地高等学校	・防災教育、出前授業、職業体験、職業講話 ・部活動指導補助(内容:コーチ) ・ボランティア活動等への参画
七戸高等学校	・学習アシスタント(授業の外部講師等) ・地域に関する学習活動(アーカイブしちのへのロゲイニング運営等) ・進路講話(キャリアポ等) ・学校行事(行事での写真撮影等) ・登下校の見守り(あいさつ運動等) ・部活動指導補助(外部コーチ)ほか
百石高等学校	・学校行事(文化祭・体育祭)の記録、地域に関する学習活動(総合的な探究、地域活性化、避難所運営訓練)、地域広報誌への参画、地域魅力発見動画成果発表、食物調理科実習成果披露、地域の祭りへの生徒派遣、地域で開催される行事へのボランティア生徒派遣
六ヶ所高等学校	・地域の環境問題 ・地域資源の紹介 ・出前授業 ・就職相談 ・職場体験 ・環境整備 ・地域の行事・イベント・祭り・ボランティア活動等への参画
三本木農業恵拓高等学校	・地域に関する学習活動、職業体験、地域の行事への参加

十和田工業高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生のものづくり体験教室・小学生プログラミング教室</li> <li>PTAとの朝のあいさつ運動</li> <li>卒業生の講話</li> <li>各科産業見学・企業見学</li> <li>上十三・三沢電気工事業協同組合と高校生との交流</li> <li>NTT東日本-東北青森支店による技術指導、3Dカメラによる校舎内撮影実習</li> <li>消防クラブ設立(十和田消防署との連携)</li> </ul>
三沢商業高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業科目「課題研究」を通して、地域理解・郷土愛を持たせた地域産業と融合した地域総合学習を展開している。</li> </ul>
田名部高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>花壇、プランター等による環境整備</li> <li>地域の祭り(田名部まつり、大湊ねぶた他)への参画</li> </ul>
大湊高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に関する学習活動(地域活性化・まちづくり、防災、下北ジオパーク研究)、出前授業(福祉科)、職業体験(インターンシップ)、環境整備(花壇整備)、学校行事(文化祭)の補助、登下校の見守り、地域の行事・イベント・ボランティア活動への参画</li> </ul>
大間高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校と合同のフラワーデー(環境美化活動)、クリーンデー(ゴミ拾い活動)、地元企業に依頼してのインターンシップ、地域の行事・イベント・祭り・ボランティア活動等への参加、保育園等における読み聞かせ活動</li> </ul>
むつ工業高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習アシスタント、共同研究、インターンシップ、出前授業、進路講話、学校行事の補助、部活動指導補助、防災訓練</li> </ul>
八戸高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に関する学習活動(地域活性化・まちづくり)</li> <li>地域資源の紹介</li> <li>総合的な探究の時間における課題研究への指導・助言</li> <li>部活動指導補助(コーチ・監督)</li> </ul>
八戸東高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校への学習支援ボランティア</li> <li>PTAによる登校指導および環境整備(イルミネーション設置)</li> <li>校外体験活動(職場訪問)</li> <li>出前授業</li> <li>各種イベントでのボランティア活動(音楽部、書道部他)</li> </ul>
八戸北高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に関する学習活動(校外学習、総探での探究活動)</li> <li>出前授業(大学出張講義、統計アナリスト養成講座)</li> <li>職業体験(職業人と語る会、医療体験、薬剤師体験)</li> <li>進路講話</li> <li>学校行事(文化祭展示、他)</li> <li>あいさつ運動</li> <li>ボランティア活動(地域清掃、学習支援ボランティア、地域行事補助等)</li> <li>メンタルコーチによるメンタルサポート</li> </ul>
八戸西高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の小学校における学習支援ボランティア</li> <li>地域の企業の方を招いての進路講話</li> <li>総合的な探究の時間における地域団体、企業、大学訪問</li> <li>大学・市役所職員による探究活動に対する指導、助言</li> <li>生徒の登校時における保護者による一声運動</li> <li>スポーツ科学科生徒による、中学生を対象とした公開講座、スポーツを通じた小学生や地域団体との交流、地域活動やイベントへの参加協力</li> </ul>
三戸高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に関する学習活動(地域活性化・まちづくりについて、学校設定科目の「みらい探究」を通して学ぶ。町役場職員・町内事業者と連携する。)</li> <li>商品開発(地場産品を用いた商品開発)</li> <li>インターンシップ</li> <li>地域の行事、イベント、祭り、ボランティア活動への参加(三戸町・田子町)</li> </ul>
名久井農業高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習アシスタント(実習・農業体験学習(果樹・野菜の栽培管理)・指導補助・アグリチャレンジ)、地域に関する学習活動(地域活性化・まちづくり・地域の環境問題・郷土芸能部演奏・剪定講習会・林業の仕事体験学習・伝統野菜栽培・研究&amp;PR)、商品開発。地域資源の紹介、出前授業(食農交流体験)、職業体験(インターンシップ・アンテナショップ・野菜苗販売・農産物販売・農作業支援活動、企業合同説明会)、環境整備(地区分会活動)、地域の行事(名川秋祭り全校参加)、学校行事(体育祭、1学年遠足での給水サポート、文化祭での模擬店)、登校指導、部活動指導補助(内容:バスケットボール部、茶華道部)、進路ガイダンス</li> </ul>
八戸水産高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品開発、地域資源の紹介、職業体験、地域行事等への参画、海岸清掃活動</li> </ul>
八戸工業高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前授業(小学校、地域の行事)</li> <li>地域に関する学習活動(産業見学、地域の環境・エネルギー問題)</li> <li>就業体験(インターンシップ、職業講話)</li> </ul>

八戸商業高等学校	・職場体験(インターンシップ)、学校行事(八商バザー)、高大連携事業における出前授業、企業から講師派遣のSE講座、課題研究(商品開発、地域課題)など
北斗高等学校	・出前授業、進学就職相談、職業体験、進路講話、交通安全教室
尾上総合高等学校	・地域のイベントの参加(役場と連携し田んぼアート田植え及び稲刈り作業を体験、市役所と連携し10都市祭典のボランティア参加) ・農業体験として近隣の農家への就業体験 ・進路講話(職業人講話として各業界から人材派遣していただき実施) ・地域ねふた祭への参加(市役所・商工会議所・町会等) ・居場所カフェの開催(大学生・一般ボランティアの協力) ・文化祭(PTAの協力)
八戸中央高等学校	・地域に関する学習活動(防災) ・職業体験(インターンシップ) ・環境整備(花壇整備等)

【特別支援学校】

学校名	具体的内容
盲学校	・出前授業、進学・就職相談、職業体験(インターンシップ、職場訪問、職業講話など)、進路講話、本の読み聞かせ、ボランティア活動等への参画
八戸盲学校	・地域の方によるゲストティチャー(クラブ活動、音楽、家庭)、職業体験、学校行事の補助(運動会、学習発表会)、地域の行事(公民館祭りへの参加)、熟議
青森聾学校	・職業体験
弘前聾学校	・近隣の幼・小との交流学習、近隣高校生による調理実習授業、弘前市出前授業、地域の企業による職業体験・職場訪問、卒業生の保護者による進路講話、近隣駅の清掃・環境整備、大学生による運動会・学習発表会の補助、近隣高校との部活動交流、近隣の福祉施設との共同ボランティア活動、近隣企業からのリサイクル資源の提供
八戸聾学校	・出前授業(生け花、木工、昆虫観察)、環境整備、職場体験、まち探検、職業講話、幼稚部の学生ボランティア、八戸スポーツ大使によるスケート授業
青森第一養護学校	・地域に関する学習活動(防災、郷土芸能・伝統文化の伝承等)、職業体験、職場訪問、遠隔社会見学、学校展、進路講話、学校間交流、居住地校交流、畑整備
青森第二養護学校	・米作り交流(田植え、稲刈り、脱穀、収穫祭) ・資源回収(年3回) ・児童館清掃、神社清掃(斧懸神社) ・産業現場等における実習、ジョブカフェ講話、企業見学等 ・児童生徒の居住地校交流に係る出前授業
青森若葉養護学校	・地域環境整備活動(青森市営バス停留所の清掃活動)
青森第一高等養護学校	・地域に関する学習活動、商品開発・研究、職業体験、地域の行事への参加・ボランティア活動、作業製品の展示、進路講話、出前授業、学校行事等へのボランティア要請
青森第二高等養護学校	・出前講座、地域に関する学習活動 ・職業体験(インターンシップ、職場訪問、職業講話) ・進路講話、四者面談 ・環境整備、学校行事の補助、部活動指導補助
弘前第一養護学校	・学習アシスタント(体験学習の講師、指導補助)※りんご作り体験 ・地域に関する学習活動(郷土芸能) ・出前授業 ・進路講話 ・職業体験(職場訪問、職業講話)
弘前第二養護学校	・産業現場等における実習 ・施設見学 ・施設との交流学習 ・特別活動(クリスマス会)への協力
八戸第一養護学校	・地域に関する学習活動、出前授業、職業体験、進路講話、環境整備
八戸第二養護学校	・環境整備活動
八戸高等支援学校	・地域の学校・公民館等の清掃活動、地域の花壇整備、保育園交流、校内カフェの実施、地域の行事への参加、外来種駆除作業、地域住民対象ポッチャ大会、地域の外部講師を招へいた授業(陸上競技、身だしなみ講座、マナー講座、コーヒー・パン製造、卒業生講話)、まちづくり会議への参加、同窓会総会
黒石養護学校	・居住地校交流 ・他校種交流(地元小・中学校との交流会、地域の高校での農作業体験) ・地域に関する学習活動(陶芸体験、農業体験) ・保護者による環境整備 ・産業現場等における実習への協力(地元企業、施設) ・校内実習・作業学習(地元企業からの作業請負) ・模擬会社の設立(黒石市、黒石市教委、黒石商工会議所、黒石市社会福祉協議会との共催) ・学校祭への協力(黒石高等学校)

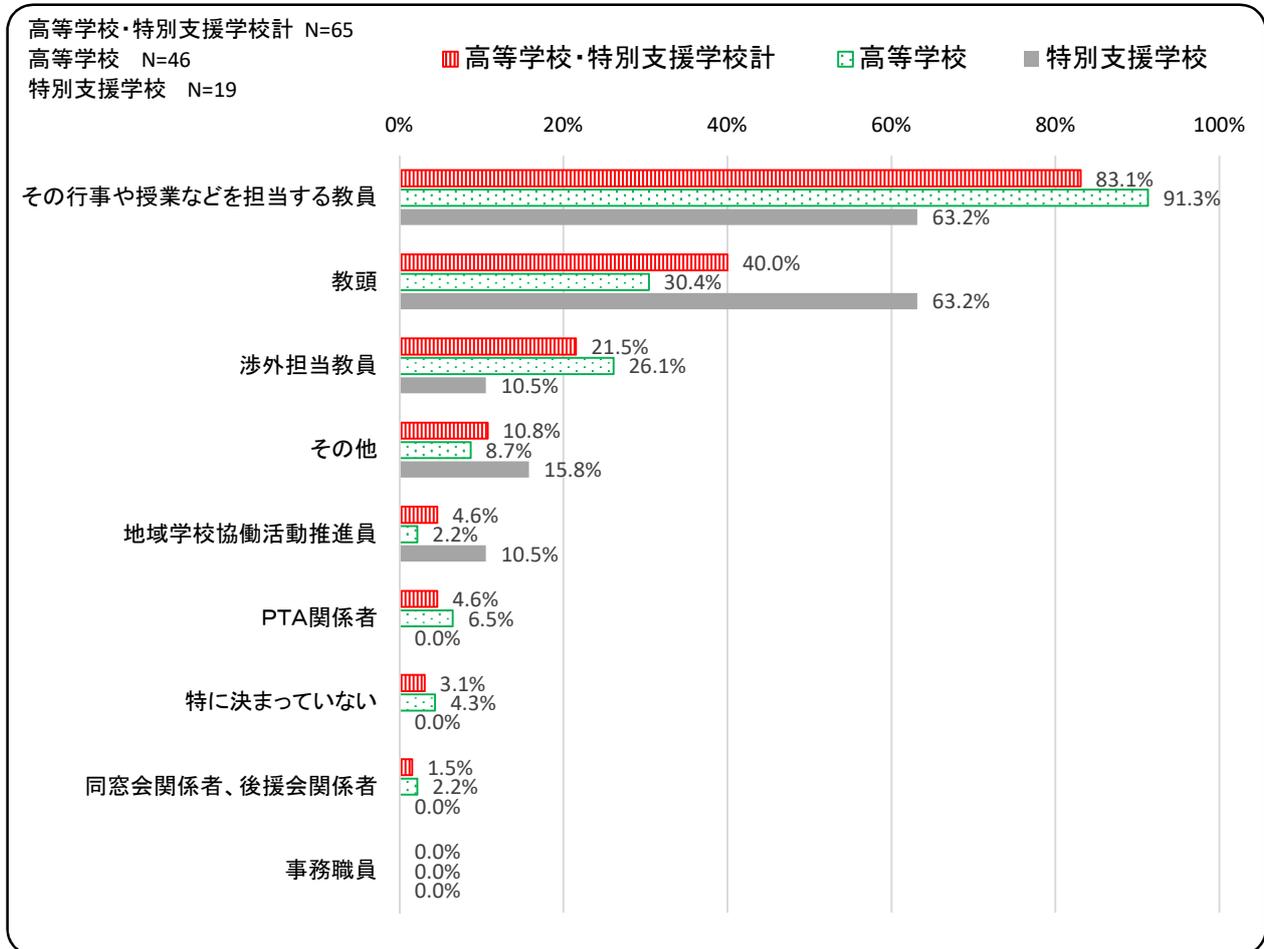
むつ養護学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部:花のまちづくり運動、地元婦人会との交流(昔の遊び、踊り)、四校園スポーツ交流</li> <li>・中学部:職場・施設体験、郷土工芸教室、三校交流(海浜清掃)、四校園スポーツ交流</li> <li>・高等部:産業現場等における実習、近隣小学校との清掃協働活動、工業高校との交流、地区県立高校野球部エールボール活動、外部講師活用授業(清掃、PC入力、書道、ヒップホップダンス、グラウンド・ゴルフ、窯業)、市内4校合同震災から学ぶプロジェクト</li> </ul>
森田養護学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習アシスタント(実習付添、遊具の消毒)</li> <li>・本の読み聞かせ</li> <li>・地域との防災協定締結・連携</li> <li>・出前授業</li> <li>・市立図書館からの図書貸出支援</li> <li>・環境整備(学校花壇)</li> <li>・学校行事の補助(運動会、学校祭、作品展)</li> <li>・地域イベント活動への参画(芋掘り、マラソン、工芸)</li> <li>・地域へのボランティア活動(清掃、雪かき、交流、出前喫茶)</li> </ul>
七戸養護学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に関する学習(伝統文化の伝承等)⇒七高とのトラジョサンバ体験</li> <li>・職業体験(インターンシップ、職場訪問、職業講話、進路講話等)⇒現場実習・進路学習等</li> <li>・環境整備(地域の道路等の草刈・花壇整備等)⇒七戸町主催の緑化事業等</li> <li>・学校行事(各種式典、文化祭、運動会等)の補助⇒PTA</li> </ul>

4 地域学校協働活動を行う際、連携先と学校のコーディネート(つなぎ役)は主にどなたが担当していますか。

(該当校回答)

□連携先とのコーディネート役

※複数を担当している場合は、多いものから2つ選択



「その他」の記載内容

高等学校(計4件) : 生徒指導保健部(1件)、ボランティア推進委員会担当教員(1件)  
関係する各分掌の担当教員(1件)、市職員(1件)  
特別支援学校(計3件) : 進路指導担当教員(2件)、学校運営協議会委員(1件)

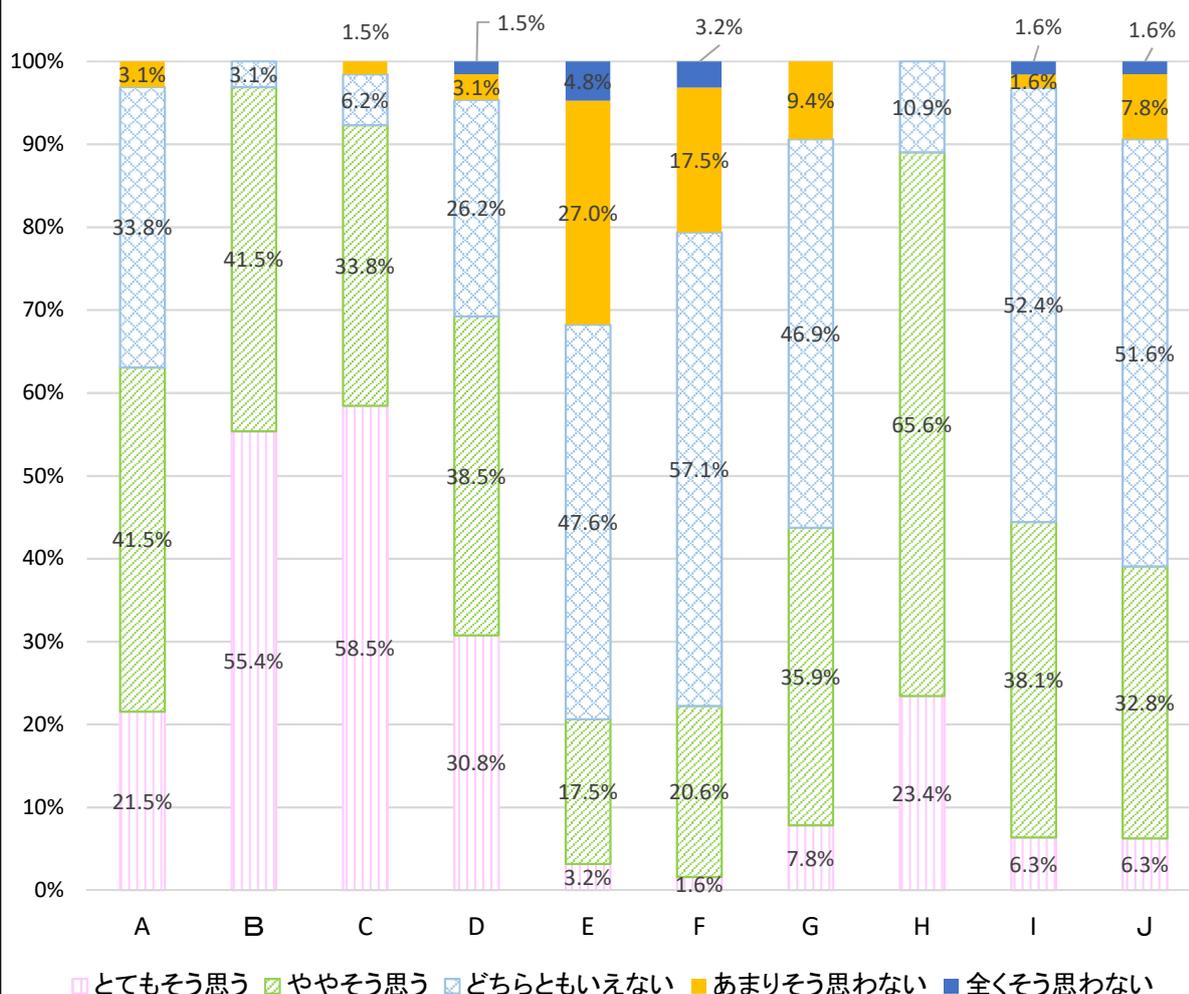
コーディネート役	高校・特支計(65校)		高等学校(46校)		特別支援学校(19校)	
教頭	26	40.0%	14	30.4%	12	63.2%
渉外担当教員	14	21.5%	12	26.1%	2	10.5%
その行事や授業などを担当する教員	54	83.1%	42	91.3%	12	63.2%
事務職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
地域学校協働活動推進員等	3	4.6%	1	2.2%	2	10.5%
PTA関係者	3	4.6%	3	6.5%	0	0.0%
同窓会関係者、後援会関係者	1	1.5%	1	2.2%	0	0.0%
特に決まっていない	2	3.1%	2	4.3%	0	0.0%
その他	7	10.8%	4	8.7%	3	15.8%

5 地域学校協働活動を行うことで、学校として感じている効果についてお答えください。

(該当校回答)

- A 児童生徒が地域住民と交流することにより、様々な体験や経験の場が増え、学力の向上につながった。
- B 児童生徒が地域住民と交流することにより、様々な体験や経験の場が増え、コミュニケーション能力の向上につながった。
- C 児童生徒が地域住民と交流することにより、様々な体験や経験の場が増え、地域への理解・関心が深まった。
- D 地域課題(地域活性化・まちづくり、防災、家庭教育支援、子育て環境整備、地域の環境問題、郷土芸能・伝統文化の伝承、国際化、高齢者の活躍促進、地域の健康増進、教育格差の解消等)の解決方法を児童生徒が考えることにつながった。
- E 地域住民が学校を支援することにより、教員が授業や生徒指導等に力を注ぐことができた。
- F 地域住民が学校を支援することにより、生徒指導上の課題の解決につながった。
- G 地域住民の生きがいや自己実現につながった。
- H 地域住民の学校への理解が深まった。
- I 地域住民が学校を支援することにより、地域の教育力が向上し、地域の活性化につながった。
- J 地域課題(地域活性化・まちづくり、防災、家庭教育支援、子育て環境整備、地域の環境問題、郷土芸能・伝統文化の伝承、国際化、高齢者の活躍促進、地域の健康増進、教育格差の解消等)の解決方法を地域住民が考えることにつながった。

高等学校・特別支援学校計 N=65



A	校種	回答数	とてもそう思う		ややそう思う		どちらともいえない		あまりそう思わない		全くそう思わない	
	高校	46校	10校	21.7%	20校	43.5%	15校	32.6%	1校	2.2%	0校	0.0%
特支	19校	4校	21.1%	7校	36.8%	7校	36.8%	1校	5.3%	0校	0.0%	
全体	65校	14校	21.5%	27校	41.5%	22校	33.8%	2校	3.1%	0校	0.0%	

B	校種	回答数	とてもそう思う		ややそう思う		どちらともいえない		あまりそう思わない		全くそう思わない	
	高校	46校	26校	56.5%	18校	39.1%	2校	4.3%	0校	0.0%	0校	0.0%
特支	19校	10校	52.6%	9校	47.4%	0校	0.0%	0校	0.0%	0校	0.0%	
全体	65校	36校	55.4%	27校	41.5%	2校	3.1%	0校	0.0%	0校	0.0%	

C	校種	回答数	とてもそう思う		ややそう思う		どちらともいえない		あまりそう思わない		全くそう思わない	
	高校	46校	28校	60.9%	16校	34.8%	2校	4.3%	0校	0.0%	0校	0.0%
特支	19校	10校	52.6%	6校	31.6%	2校	10.5%	1校	5.3%	0校	0.0%	
全体	65校	38校	58.5%	22校	33.8%	4校	6.2%	1校	1.5%	0校	0.0%	

D	校種	回答数	とてもそう思う		ややそう思う		どちらともいえない		あまりそう思わない		全くそう思わない	
	高校	46校	20校	43.5%	20校	43.5%	6校	13.0%	0校	0.0%	0校	0.0%
特支	19校	0校	0.0%	5校	26.3%	11校	57.9%	2校	10.5%	1校	5.3%	
全体	65校	20校	30.8%	25校	38.5%	17校	26.2%	2校	3.1%	1校	1.5%	

E	校種	回答数	とてもそう思う		ややそう思う		どちらともいえない		あまりそう思わない		全くそう思わない	
	高校	44校	1校	2.3%	10校	22.7%	19校	43.2%	11校	25.0%	3校	6.8%
特支	19校	1校	5.3%	1校	5.3%	11校	57.9%	6校	31.6%	0校	0.0%	
全体	63校	2校	3.2%	11校	17.5%	30校	47.6%	17校	27.0%	3校	4.8%	

F	校種	回答数	とてもそう思う		ややそう思う		どちらともいえない		あまりそう思わない		全くそう思わない	
	高校	44校	1校	2.3%	8校	18.2%	26校	59.1%	7校	15.9%	2校	4.5%
特支	19校	0校	0.0%	5校	26.3%	10校	52.6%	4校	21.1%	0校	0.0%	
全体	63校	1校	1.6%	13校	20.6%	36校	57.1%	11校	17.5%	2校	3.2%	

G	校種	回答数	とてもそう思う		ややそう思う		どちらともいえない		あまりそう思わない		全くそう思わない	
	高校	45校	5校	11.1%	17校	37.8%	19校	42.2%	4校	8.9%	0校	0.0%
特支	19校	0校	0.0%	6校	31.6%	11校	57.9%	2校	10.5%	0校	0.0%	
全体	64校	5校	7.8%	23校	35.9%	30校	46.9%	6校	9.4%	0校	0.0%	

H	校種	回答数	とてもそう思う		ややそう思う		どちらともいえない		あまりそう思わない		全くそう思わない	
	高校	45校	7校	15.6%	33校	73.3%	5校	11.1%	0校	0.0%	0校	0.0%
特支	19校	8校	42.1%	9校	47.4%	2校	10.5%	0校	0.0%	0校	0.0%	
全体	64校	15校	23.4%	42校	65.6%	7校	10.9%	0校	0.0%	0校	0.0%	

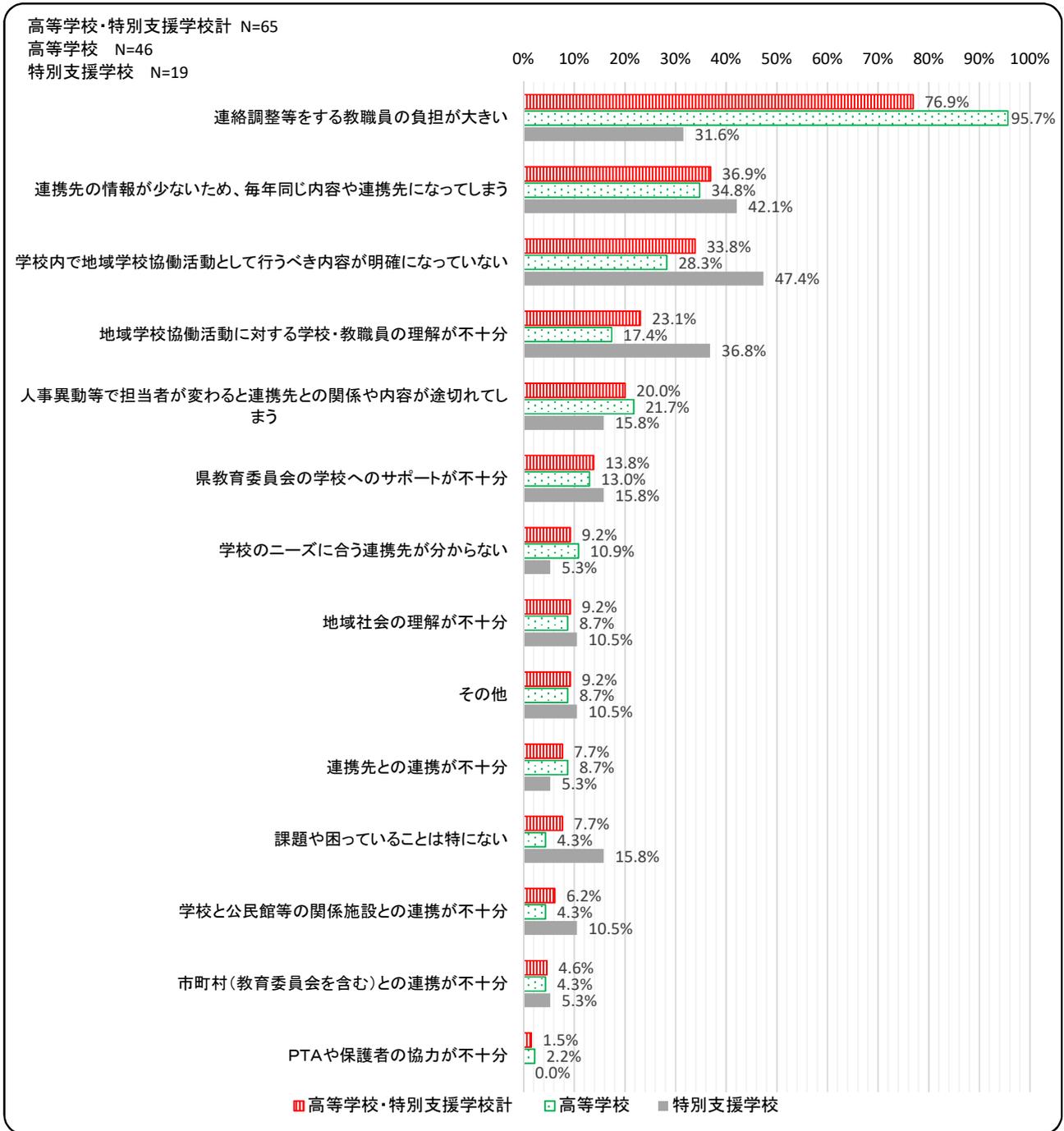
I	校種	回答数	とてもそう思う		ややそう思う		どちらともいえない		あまりそう思わない		全くそう思わない	
	高校	44校	4校	9.1%	19校	43.2%	19校	43.2%	1校	2.3%	1校	2.3%
特支	19校	0校	0.0%	5校	26.3%	14校	73.7%	0校	0.0%	0校	0.0%	
全体	63校	4校	6.3%	24校	38.1%	33校	52.4%	1校	1.6%	1校	1.6%	

J	校種	回答数	とてもそう思う		ややそう思う		どちらともいえない		あまりそう思わない		全くそう思わない	
	高校	45校	4校	8.9%	17校	37.8%	19校	42.2%	4校	8.9%	1校	2.2%
特支	19校	0校	0.0%	4校	21.1%	14校	73.7%	1校	5.3%	0校	0.0%	
全体	64校	4校	6.3%	21校	32.8%	33校	51.6%	5校	7.8%	1校	1.6%	

6 地域学校協働活動を実施する上で、学校として課題と感じていることについてお答えください。  
(該当校回答)

□ 地域学校協働活動実施上、学校として感じている課題

※複数回答のため、重複あり



「その他」の記載内容

高等学校(計4件)

- ・既存の活動を中心に相手方からの要請による受動的な活動が多い現状である。(1件)
- ・生徒の移動費などの予算の問題。(1件)
- ・地域の行事で、生徒が運営スタッフとして募集されるが、負担が大きい。(1件)
- ・担当授業時数過多、分掌業務が多く時間が足りない。(1件)

特別支援学校(計2件)

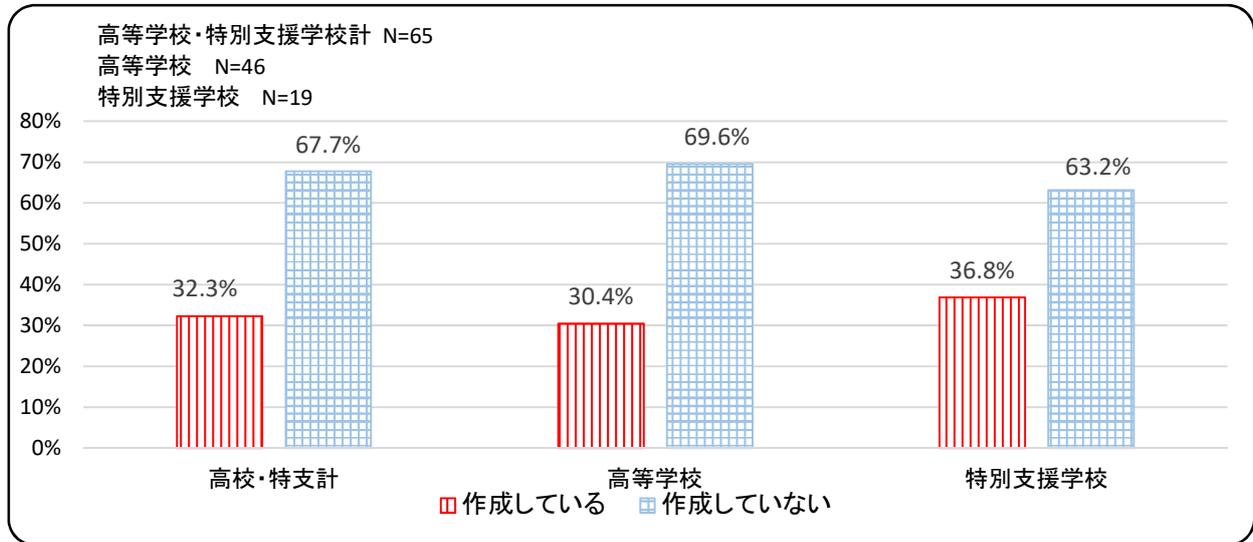
- ・福祉タクシー等の公共の交通手段が不十分。(1件)
- ・今年度から学校運営協議会として実施しているため、上記のようなことがあるかさえ手探り状態である。(1件)

	課 題	高校・特支計 (65校)		高等学校 (46校)		特別支援学校 (19校)	
		校数	割合	校数	割合	校数	割合
ア	地域学校協働活動に対する学校・教職員の理解が不十分	15校	23.1%	8校	17.4%	7校	36.8%
イ	連絡調整等をする教職員の負担が大きい	50校	76.9%	44校	95.7%	6校	31.6%
ウ	学校内で地域学校協働活動として行うべき内容が明確になっていない	22校	33.8%	13校	28.3%	9校	47.4%
エ	連携先との連携が不十分	5校	7.7%	4校	8.7%	1校	5.3%
オ	連携先の情報が少ないため、毎年同じ内容や連携先になってしまう	24校	36.9%	16校	34.8%	8校	42.1%
カ	人事異動等で担当者が変わると連携先との関係や内容が途切れてしまう	13校	20.0%	10校	21.7%	3校	15.8%
キ	学校のニーズに合う連携先が分からない	6校	9.2%	5校	10.9%	1校	5.3%
ク	市町村(教育委員会を含む)との連携が不十分	3校	4.6%	2校	4.3%	1校	5.3%
ケ	県教育委員会の学校へのサポートが不十分	9校	13.8%	6校	13.0%	3校	15.8%
コ	学校と公民館等の関係施設との連携が不十分	4校	6.2%	2校	4.3%	2校	10.5%
サ	PTAや保護者の協力が不十分	1校	1.5%	1校	2.2%	0校	0.0%
シ	地域社会の理解が不十分	6校	9.2%	4校	8.7%	2校	10.5%
ス	その他	6校	9.2%	4校	8.7%	2校	10.5%
セ	課題や困っていることは特にない	5校	7.7%	2校	4.3%	3校	15.8%

7 学校が独自に、地域の方や企業等の協力(職場体験等)を受けるためのリスト(人財バンク)を作成していますか。

(該当校回答)

□地域の方や企業の支援(職場体験等)を受けるためのリスト(人財バンク)を作成している割合



校種	学校数	作成している		作成していない	
高校	46校	14校	30.4%	32校	69.6%
特支	19校	7校	36.8%	12校	63.2%
全体	65校	21校	32.3%	44校	67.7%

8 現在検討している地域学校協働活動について、その内容を記載してください。

(該当校回答)

高等学校(該当校なし)

特別支援学校(該当校なし)

9 地域学校協働活動を行っていない(検討予定がない)理由を記載してください。

(該当校回答)

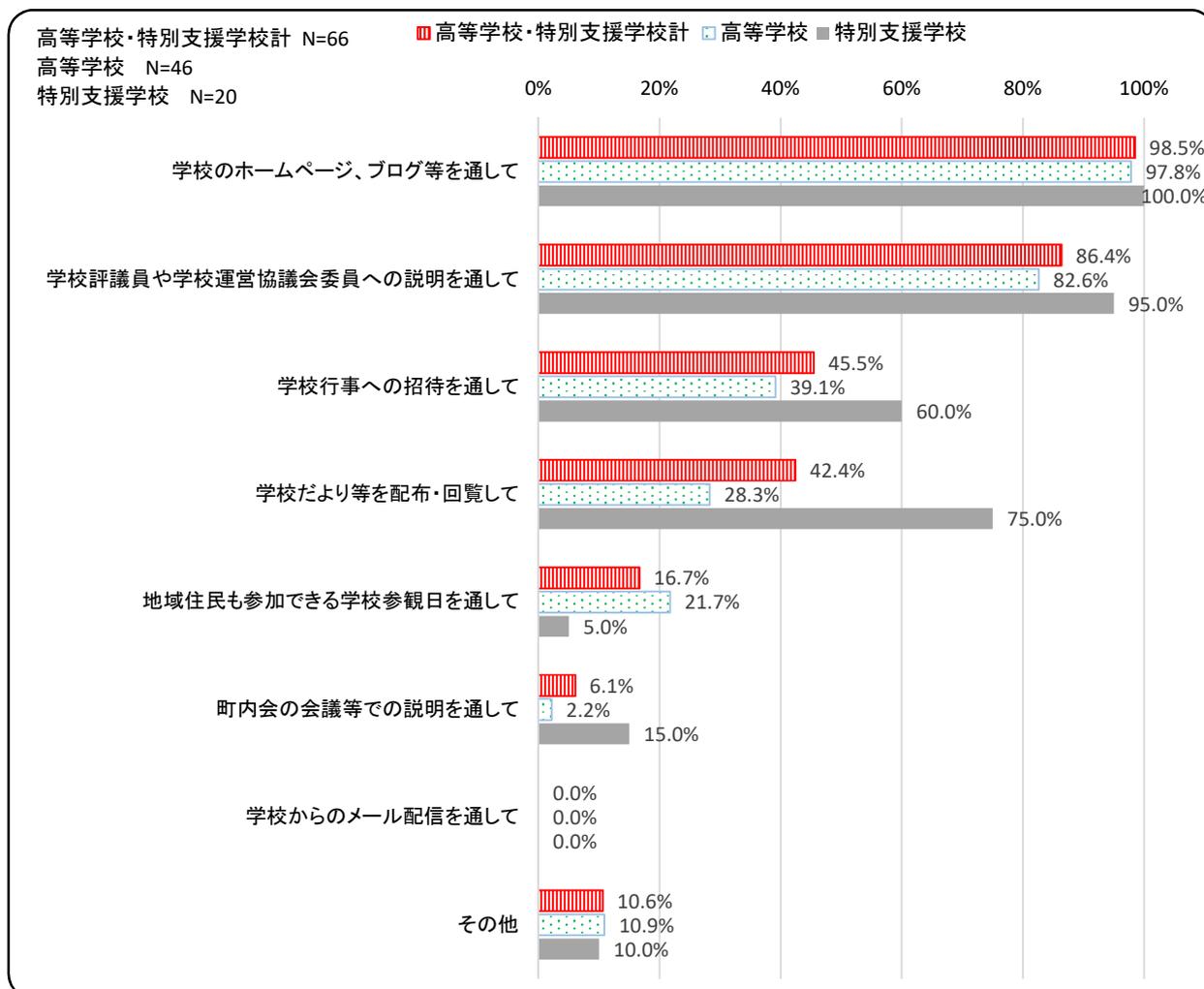
特別支援学校(該当校1校)

・学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な実施に至っていない。

10 地域住民(在籍する児童生徒の家庭以外)に対して、学校の教育活動全般の情報をどのように発信していますか。

(全校回答)

※複数回答のため、重複あり



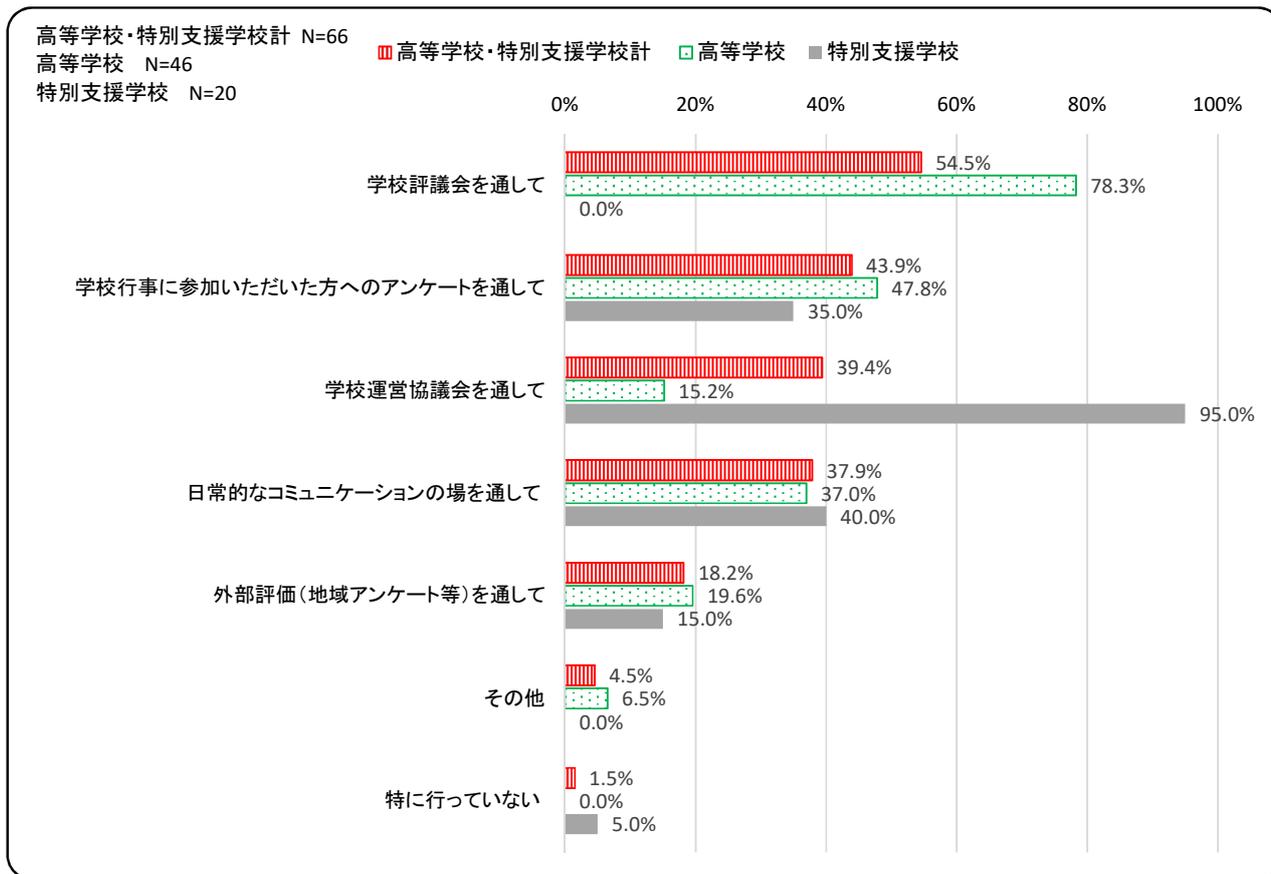
「その他」の記載内容

高等学校(計5件) :自治体の広報誌を通して(3件)、町内会長さんとの連携を通して(1件)  
 地域で開催される会議等に校長が可能な限り出席して発信(1件)  
 特別支援学校(計2件) :地域で毎月発行する広報(公民館だより)に学校の情報を掲載(1件)  
 町会の回覧板を通して(1件)

発信方法	高校・特支計(66校)		高等学校(46校)		特別支援学校(20校)	
	校数	割合	校数	割合	校数	割合
ア 学校だより等を配布・回覧して	28校	42.4%	13校	28.3%	15校	75.0%
イ 学校行事への招待を通して	30校	45.5%	18校	39.1%	12校	60.0%
ウ 地域住民も参加できる学校参観日を通して	11校	16.7%	10校	21.7%	1校	5.0%
エ 学校評議員や学校運営協議会委員への説明を通して	57校	86.4%	38校	82.6%	19校	95.0%
オ 町内会の会議等での説明を通して	4校	6.1%	1校	2.2%	3校	15.0%
カ 学校のホームページ、ブログ等を通して	65校	98.5%	45校	97.8%	20校	100.0%
キ 学校からのメール配信を通して	0校	0.0%	0校	0.0%	0校	0.0%
ク その他	7校	10.6%	5校	10.9%	2校	10.0%

11 地域住民(在籍する児童生徒の家庭以外)の要望や意見を、どのように学校の運営に取り入れていますか。  
(全校回答)

※複数回答のため、重複あり



「その他」の記載内容

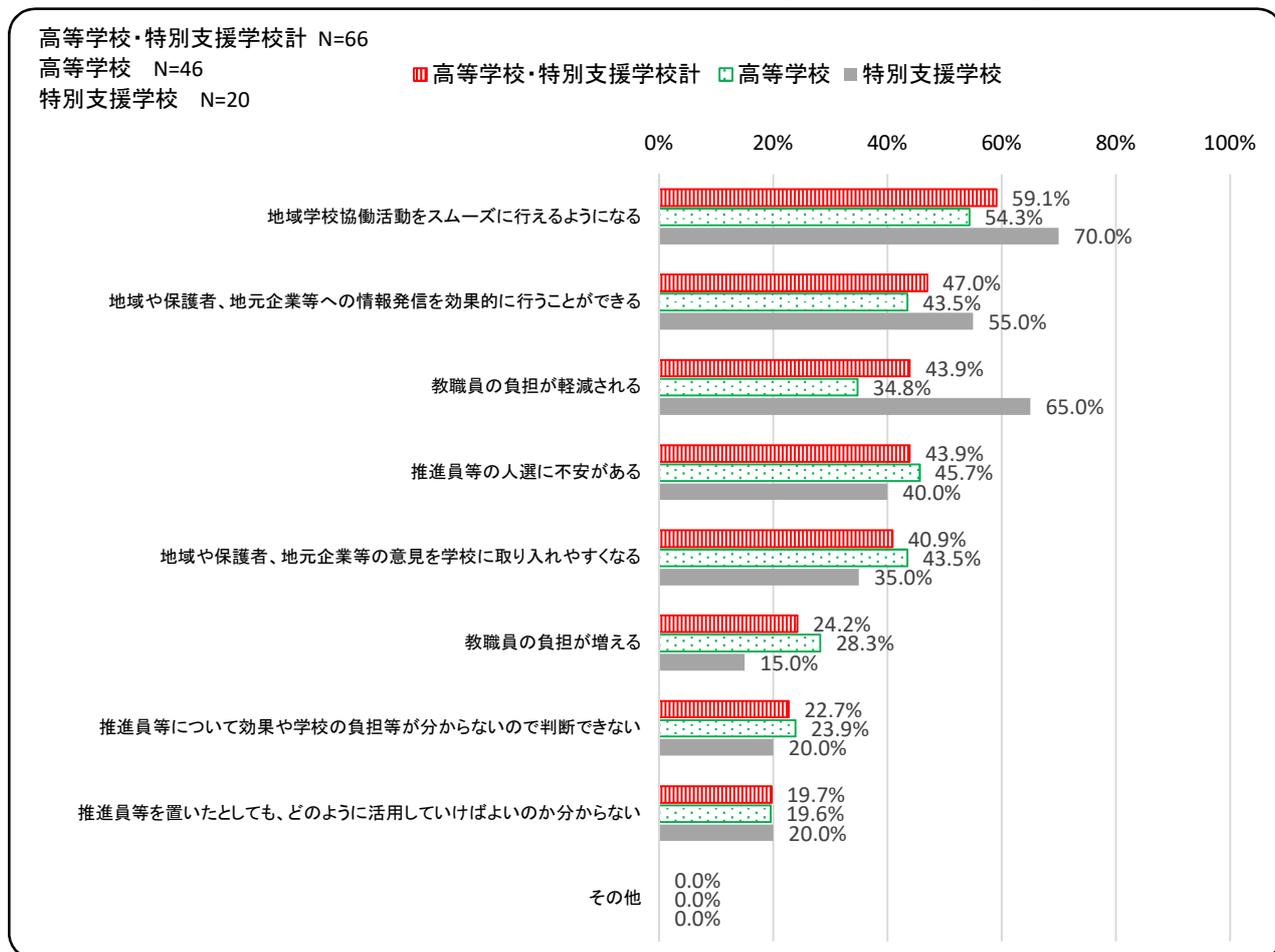
高等学校(計3件) : 地域住民、自治体との連絡協議会を通して(2件)  
 PTA総会、PTA役員会(1件)

	取り入れ方	高校・特支計(66校)		高等学校(46校)		特別支援学校(20校)	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
ア	外部評価(地域アンケート等)を通して	12校	18.2%	9校	19.6%	3校	15.0%
イ	学校運営協議会を通して	26校	39.4%	7校	15.2%	19校	95.0%
ウ	学校評議会を通して	36校	54.5%	36校	78.3%	0校	0.0%
エ	学校行事に参加いただいた方へのアンケートを通して	29校	43.9%	22校	47.8%	7校	35.0%
オ	日常的なコミュニケーションの場を通して	25校	37.9%	17校	37.0%	8校	40.0%
カ	その他	3校	4.5%	3校	6.5%	0校	0.0%
キ	特に行っていない	1校	1.5%	0校	0.0%	1校	5.0%

12 地域学校協働活動推進等(以下、「推進員等」という。)を自校に置くことについて、どのように考えますか。

(全校回答)

※複数回答のため、重複あり



「その他」の記載内容  
 記載学校なし

選択肢	高校・特支計(66校)		高等学校(46校)		特別支援学校(20校)	
ア 地域学校協働活動をスムーズに行えるようになる	39校	59.1%	25校	54.3%	14校	70.0%
イ 地域や保護者、地元企業等への情報発信を効果的に行うことができる	31校	47.0%	20校	43.5%	11校	55.0%
ウ 地域や保護者、地元企業等の意見を学校に取り入れやすくなる	27校	40.9%	20校	43.5%	7校	35.0%
エ 教職員の負担が軽減される	29校	43.9%	16校	34.8%	13校	65.0%
オ 教職員の負担が増える	16校	24.2%	13校	28.3%	3校	15.0%
カ 推進員等の人選に不安がある	29校	43.9%	21校	45.7%	8校	40.0%
キ 推進員等を置いたとしても、どのように活用していけばよいのか分からない	13校	19.7%	9校	19.6%	4校	20.0%
ク その他	0校	0.0%	0校	0.0%	0校	0.0%
ケ 推進員等について効果や学校の負担等が分からないので判断できない	15校	22.7%	11校	23.9%	4校	20.0%

13 学校と地域の連携に関して、御意見がありましたら御記入ください。

(自由記述)

**【高等学校】**

<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自由に活動推進員に依頼することを許せば、教員の負担は大幅に軽減できると考えますが、活動推進員の介入が場合によっては生徒の自主性育成の妨げになる場合があるので、生徒の自主性を重んじることと、活動推進員とのバランスが難しいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>どうしても一部の生徒だけの活動になってしまう傾向があるため、学校全体で取り組むことができる枠組み・体制づくりが必要である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>連携を推進していくためには、双方の意見交換が徹底して行える準備委員会等が必要。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究の授業で地域・企業・大学と連携し生徒の意欲を引き出し成果を上げていると思う。様々な場面で連携することは大切であるが、生徒が先に取り組むべき事を優先することが重要であると思う。その上で、生徒にも教員にも地域連携に取り組む余裕があるのであれば、積極的に取り入れても良いと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域に1人ずつ(複数人でもよいが)、推進員(コーディネーター)が配置されると、学校として負担が減ると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の教員や生徒のみが関わっているケースが多いため学校全体で取り組んだ方が高い効果が得られる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>Q4で回答した行事等、改善しながら行っているものが多数あり、成果もあることから、これ以上は増やさなくても良いと考える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と地域の連携は、どちらにもプラスの効果があり、絶対に必要である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が活躍できる場が大幅に増え、学校の特色ある取組として学校の魅力化にもつながることなどが大いに期待できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と地域連携は、成果が見えにくい活動である。(決して成果がない活動ではない)そのため、実施する際には学校は、目的を確認しながら進めていく根気強さが求められる。拙速に成果や結果が求められる活動になると、生徒が自分事として考えるための活動になっていかない。 また、財政的な支援の申請が、4月届け出に集中しており、正直厳しいものがある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>元来、地域校として様々な形で地域との結びつきがあるが、社会のニーズに合わせてアップデートしていかなければならないと感じている。また、学校行事等に地域住民を巻き込む工夫が必要だと考える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域から、活動・協力依頼が増えると思われるが、生徒が少ない中でどれだけできるか不明なところがある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>年間の予定をしっかりと検討して、地域連携に取り組む必要がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と地域が1対1の関係で連携するためには、コーディネーターが必要であると考ええる。</li> </ul>

**【特別支援学校】**

<ul style="list-style-type: none"> <li>現行の取組において、地域と連携することでさらに教育効果が高まると思われる活動について、連携を検討していきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>本校はこれまで地域といろいろな繋がりをもって教育活動を行ってきたこともあり、更に連携を深めることは教職員の負担感が増すのではと感じている。</li> </ul>